

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 大玉村 (都道府県: 福島県)
本事業の担当部局名 政策推進課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業			
区分	重点メニュー			
関連事業メニュー	1.2.1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組			
個別事業名	おおたま新たな出会い応援事業		新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和6年4月1日	～	令和7年3月31日	事業開始年度 令和 元 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,200,000			円
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 本村では、令和4年3月に「第2期大玉村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「戦略6 子育て日本一の村プロジェクト」の中で「1 結婚・出産の希望を叶えられる環境整備」を政策目標の一つに掲げている。また「第五次大玉村総合振興計画」においても、「9 絆づくりの推進」の中で、主要施策として「(1)地域人口対策の推進」を掲げている。 本事業は、上記を実現するための重要な事業である。特に少子化対策に関しては、これまで主に出産や子育て支援に注目して取り組んできたところであり、結婚に注目しての取組みは少ないのが実態であった。本事業では、少子化対策を更に効果的とするステップとして男女の出会いの機会を創出するなど、結婚から出産、子育てまで一貫した対策を実施することで少子化に一定の歯止めをかけることを目指す。 また、本村においては、福島県内で子供の割合が県内で最も高い。その大きな要因としては保育料(幼稚園)無料など各種子育て支援が充実しており、子育て世代が多く転入していることが挙げられる。しかし、村内在住者の未婚者については全国的な傾向と同様多い現状であり、村としてさらなる結婚支援の充実が求められている。			
	(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 過年度に引き続き、結婚への前向きなインセンティブを与えるため「結婚新生活支援事業」を継続すること、結婚へのきっかけづくりとして「婚活セミナー」及び「婚活イベント」を実施する。また、事業対象者に対してアンケートの実施や丁寧なヒアリングを行うなど結婚支援の実態を把握することで有効な対策を調査研究していく。			
	<本個別事業の位置付け> 本村では民間主導の婚活イベントや出会いの場である商業施設等がなく、婚活をする方にとって厳しい状況がある。その中で結婚へのきっかけづくりとして引き続き「婚活イベント」を実施していく。また、「婚活セミナー」では異性とのコミュニケーションのコツなど参加者のスキルアップを図り、高いカップリング数を目指していく。 また、当事業は令和元年度から実施しているが、事業を重ねていく中で参加者が増加傾向であるため、婚活へのニーズの高さが伺える(新型コロナウイルス感染症の影響により例外あり)。今後も参加者の獲得とともにカップリング数の増加、満足度の向上など質を高めていけるよう努める。 さらに、コロナ禍で浸透したマッチングアプリの普及に伴い、オンラインでも婚活が進められるよう、ふくしま結婚・子育て応援センターが行っているAIマッチングシステム「はぴ福なび」の出張登録会や登録助成金(村事業)の案内などを行い、連携することで事業の効果を高めたい。			
(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 令和5年度実施した婚活イベントにおいては、比較的独身男性参加者の応募が少ない状況であった。このことから村内男性の婚活への引っ込み思案で消極的な姿勢が受け取れる。これまで参加していない男性の応募者を増やすために既存の周知方法の中でSNSでの周知を増やすことや体験内容等を目立たせるなどPRを工夫することで解決したい。 女性参加者については応募数は多いものの、イベント当日にキャンセルするなど応募までは進むものの参加までの障壁があるように感じる。また、カップリングの際に男性を指名しないなどが心が揺れ動く傾向がある。この課題に対して運営側によるまめな連絡やセミナー時にモチベーションの上がるような情報提供(アドバイス)など安心してイベントに参加しやすい体制を構築するとともにセミナーでのアドバイスを通じてカップリングの増加につなげていきたい。				

	番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
	1	①婚活セミナー ②婚活イベント ③はぴ福なび出張 登録会	【①婚活セミナー】(実施回数:2回 参加予定人数:100名) 結婚したい方々へ、男女のお付き合いのマナー、異性との会話のコツなどのスキルアップを目指し、セミナーを開催する。カップリング数増加の為、モチベーションの上がるような情報提供(アドバイス)などを行う。また、ふくしま結婚・子育て応援センターが行っているAIマッチングシステム「はぴ福なび」や登録助成金(村事業)を案内し、オンラインでの婚活の利用促進を図る。 【②婚活イベント】(実施回数:2回 参加予定人数:100名) 結婚世話やき人や県のマッチングシステムとも連携した婚活イベントを開催し、独身男女の出会いの場を提供する。参加者の意識改革やスキルアップを図るため参加者対象セミナーを婚活イベントに先だって開催するなど、参加者の資質アップを図る工夫を凝らしたイベントを実施する。 大玉村の自然豊かな環境を活かして散策やバーベキューなど地域性を感じる内容にするなど魅力的な企画を展開する。また、特に男性の新規参加者確保のためSNSでの周知を増やすことや体験内容等を目立たせるなどPRを工夫することで解決したい。 【③はぴ福なび出張登録会】(実施回数:1回参加予定人数:10人) ふくしま結婚・子育て応援センターが運営する結婚マッチングシステム「はぴ福なび」の出張登録会を実施。村からの助成金についても併せて案内し、会員の増加を図る。村の婚活事業についても案内する。 登録会開催時に婚活セミナーや婚活イベントの開催を周知し、イベント参加を促す。	○	○
個別事業の内容	※(注)3 【次年度以降に向けた事業の方向性】 次年度以降も事業を継続し、婚活セミナーや婚活イベントを開催する。また、ふくしま結婚・子育て応援センターの「はぴ福なび」登録助成金(村事業)の利用を呼びかけるなど、官民連携して出会いの場づくりや結婚相談体制の充実強化に取り組む。 ・婚活セミナー及び婚活イベント:令和6年 2回目標 ・大玉村はぴ福なび登録助成金活用者数:令和6年 10名目標 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・天栄村 天栄村出会いの場創出事業				
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	村の婚活事業をきっかけとする婚姻件数		件	5件(令和6年)	4(令和4年)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.58(H25~H28年度の平均)	
	婚姻件数		件	28件(令和4年度)	
	婚姻率			(未算定)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	①婚活セミナー			
	2	参加者数:100名(50名×2回)	人	100	78(令和5年)
	3	受講内容を実践できた参加者の割合	%	85	54(令和5年)
	4	②婚活イベント			
	5	参加者数:100名(50名×2回)	人	100	78(令和5年)
	6	募集定員に対する参加者数の割合	%	100	78(令和5年)
	7	③はぴ福なび出張登録会			
	8	出張登録会参加人数	人	10	6(令和5年)
	9	出張登録会をきっかけとする会員登録者数	人	5	4(令和5年)
	10				
		(アウトカム)			
	1	①婚活セミナー			
	2	婚活セミナーを受講した者の満足度	%	100	92(令和5年)
	3	受講後、婚活に対し自信がついた参加者の割合	%	85	69(令和5年)
	4	②婚活イベント			
	5	婚活イベント参加者の満足度	%	100	95(令和5年)
	6	引き合わせ成立者数	組	15	14(令和5年)
	7	③はぴ福なび出張登録会			
	8	出張登録会参加者の満足度	%	80	-
	9	出張登録会をきっかけとする会員登録者の引き合わせが成立した人数	人	5	1(令和5年)
	10				

他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	婚活セミナー・イベントの開催にあたって参加者の確保が難しい課題がある中で、ふくしま結婚・子育て応援センター(県)と連携、当センターのもつネットワークをフル活用することで解決したい。具体的には、ふくしま結婚・子育て応援センターが実施するオンライン型婚活支援サービス「はぴ福なび」の利用促進のため、当村で出張登録会を開催、その際に参加者に対し婚活セミナー・イベントの周知を図る。あわせて、ふくしま結婚・子育て応援センターHPへの掲載やはぴ福なび登録会員や県結婚世話やき人に対してチラシの配布等情報提供を行うことでネットワークをフル活用したい。また、はぴ福なび出張登録会の際に、村で行っているはぴ福なび登録料助成についても案内することで、コロナ禍において主流となったオンラインでの婚活についても支援する。 当村で取り組む結婚支援においてリアル(セミナー・イベント)の開催とオンライン(はぴ福なび)での両面の支援をふくしま結婚・子育て応援センターと有機的に連携することで単独で行うよりも結婚支援の効果が高まると考えている。 福島県及び県内全59市町村で構成される協議会において、各自治体の取り組みを共有することで、地域の実情・課題などを認識し、今後の取組を検討することができるため、上記取り組みとあわせて単独での開催よりも効果的に実施できると考える。
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	ノウハウを有する民間業者へ委託することにより出会いの場を創出し、企画力の高い実効性のある婚活事業としていきたい。また、住民や事業所、関係団体への周知だけでなく、後継者不足に悩む消防団との連携を強固にし、本部幹部等の協力のもと各消防団員への参加者募集も行うことにより、参加率向上を図る。

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。